

平成 26 年度第 2 回静岡県医療機関図書室連絡会研修会報告

静岡市立静岡病院図書室
曽根聖子

日時：平成 26 年 11 月 26 日（水）

場所：浜松医科大学附属図書館 2 階セミナー室

参加：26 機関 38 名

内容：10：30～15：20

【午前の部】

代表挨拶 浜松医科大学附属図書長 針山孝彦 氏

10：35～12：00 「連絡会の今後の体制について」

【午後の部】

テーマ：図書館（室）運営の課題と施策立案手法について

～ 図書館（室）の今と 3 年後の未来の姿を考えるために～

13：00～13：30

(1) 「企業の事例：『フィールド・イノベーション活動』の紹介」

富士通（株）フィールド・イノベーション本部 井出浩之 氏

13：30～15：10

(2) ワークショップ

連絡・その他

○ 「連絡会の今後の体制について」

浜松医科大学から、連絡会加盟機関所属職員の特別利用制度（24 時間利用）の申請と利用方法について説明があり、再検討事項も含め、改めて調整する予定であると報告がありました。今後もわかりやすいよりよい運営方法を希望致します。

連絡会の幹事については、担当役割を増やしローテーション化する案が出され、来年度の定例会に向けて、さらに検討することになりました。

会員全体で連絡会の運営を担い高めあっていけたらと思います。

○ 東海目録ワーキング委員から 10 月 28 日に東海地区医学図書館協議会実務担当者会議と合同で研修を行ったと報告がありました。次回は 2 月 23 日に、来年度の初回は 6～7 月に研修会を予定していると報告がありました。

○ 「企業の事例：『フィールド・イノベーション活動』の紹介」

図書館（室）の課題発見の手法と実践として、「フィールド・イノベーション活動」の紹介がありました。日々の業務に追われながらも『フィールド・イノベーション（F I）』を意識して図書館（室）を有効利用させたいと思いました。

○ ワークショップ

自らの図書館(室)の「現状とありたい姿」「特長や問題点」などを意見交換し、これから取り組むべき改善課題や実行施策を抽出・検討する手法を学びました。

各機関の長所・短所・めざす 3 年後の姿・課題が明確になり、取り組むべきものが確認できました。今だけでなく、F I 活動を持続していきたいと思います。



挨拶する針山代表



ワークショップ